

シリーズ 学校めぐり【第4・5回】

和田中学校へGo!

市内唯一の1中1小学校の校区を持つ和田中学校。保育所や幼稚園、小学校から友達同士の生徒が多いが、教育振興大綱に沿った小中一貫教育は平成29年度からだ。また、校区内には海上自衛隊の官舎があるため、親が自衛官という生徒が多いのも特徴だ。生徒数120人という規模を生かし、昨年度から体育祭や合唱コンクール、テスト前の学習などで、1年から3年までの縦割りのグループで活動をしている。

縦割り活動 ～学年の枠を越えたチームプレーでよりよいものを!～



分かりやすく個別指導

グループ単位でプリント学習



3年生の説明を聞く2年生

学習でつながる上・下級生



2年の教室でテスト前学習

縦割り活動のひとつ「テスト前学習」は、3年生の代表が2年生に、2年生の代表が1年生にテスト範囲の勉強を教えるものだ。事前に、学年委員らが話し合い、指導する内容を決めているとのこと。

2年の教室では、それぞれのグループに3年生がひとり入り一緒に問題を解き、分からないことを聞かれると丁寧に教えていた。指導は個別であったり、グループ全員が熱心に3年生の説明に耳を傾けたりとさまざまだ。

生徒会長の廣田一斗くんは「最初は自分のテスト勉強の時間が少なくなると思ったが、しっかり自分が理解していないと人に教えられる。学習の見直しになり結局は自分のためになっている」。また、2年生の男子生徒は「先生より歳が近いので親近感があるし、聞きやすい。分かりやすく教えてくれる」とお互いがよい学びになっている。自分が経験しているから、下級生がつまづく所が分かるのだとか。中学生になると上下関係を意識するようになるが、縦割りで行事に取り組むようになってからは「より良くするため」という共通目標ができ、学年関係なく意見をぶつけるようになった。大規模中学校ではできない、縦割りグループの活動、これからも後輩にバトンをつなげてほしい。

舞鶴市立和田中学校

〒625-0085 舞鶴市字和田640-4 ☎62-0507



舞鶴市立青葉中学校

〒625-0052 舞鶴市字行永1810 ☎62-4612



東舞鶴の市街地を中心に4つの小学校区で構成されている青葉中学校。在校生は市内の中学校では最も多く500人を超える。昭和24年の開校から現在までに2万人を超す卒業生を送り出している。校区の教育目標「ふるさとを大切に 共に学び合い・共に支え合い・共に磨き合い・可能性を切り拓く子どもの育成」で生徒に夢や志(目標)を持たせ、一人ひとりが自分の良さを発揮できる学校づくりを地域とともに目指している。

「後半テンポが速くなってるよ!」

「最後までさわやかに歌おう!」

青葉中学校の校舎に響きわたる歌声と掛け声。合唱コンクール「輝け青葉デー」を翌日にひかえ、4階の音楽室では同校合唱部と同校卒業生が集まった「輝け青葉を歌う会」の合同練習が行われていた。輝け青葉デーは、今年度で18回目を迎える。同校の校歌「輝け青葉」の4部合唱を卒業生が披露し、その歌声を聞いた当時の校長が、合唱の素晴らしさと母校に寄せる熱い思いに感動。学校の合唱祭に卒業生を招待し、歌を生徒たちに披露したことが始まり。今では毎年、全校生徒と卒業生が集う世代間交流の行事として、総合文化会館で開催されている。

生徒の主体性を大切にし、クラスごとのパートリーダー会や生徒実行委員会を組織するなど、準備から当日の司会や挨拶などの役割分担まで全て生徒たちがこなす。各クラスで何を大切に取り組んできたのか。当日はその思いを歌に込めて、今までで最高の合唱を披露する。

合唱は、一人ひとりの自主性と声の大きさやテンポなど仲間との調和を大切に、練習を積み重ねることで、最高のハーモニーを奏でることができる。仲間を思いやり全力で歌声を響かせた生徒たちの清々しい笑顔は、何よりも輝いて見えた。



クラスごとに反省点を報告

提案が飛び交う生徒実行委員会



本番に向けた多世代の合同練習



会場に響きわたる歌声

青葉中学校へGo!

輝け青葉デー
～響け伝統のハーモニー～